

# 「知久」の魅力を逆プレゼン

## オイスカ高「学生記者」企画



知久の社員等に、魅力を「逆プレゼン」した生徒ら＝浜松市中央区桜台の知久で

オイスカ浜松国際高校の生徒が、授業の一環で記者として地元企業を取材し、企業の魅力をブログ形式にまとめて伝える企画が2月26日、弁当・総菜製造販売の「知久」（浜松市中央区桜台）であった。

生徒は知久が運営する知久屋で販売する総菜を下処理、製造する本社工場を10月に訪問。保存料やアミノ酸を含む調味料を使わないなどの特徴を取材した。こ

の日は「学生記者が企業に『逆プレゼン』」と題して、知久の魅力を社員らに発表。「健康第一に安心して食べられるお総菜を大切にしていられるお店」と写真を交えて伝えた。

発表した2年の松本惇平さん(17)は「学校の近くに知久屋の店舗があって、食に興味があったので取材先を選んだ。手作業が多く、おいしさの理由だと思った」と振り返った。同社の

「内山知穂さんは「高校生が」とうれしかった。食に向き合うきっかけになった。」  
(小崎一葉)